

第 11 回全日本テコンドー選手権大会パラの部についての注意事項

<はじめに>

世界テコンドー連盟（以下 WT）の規程に準拠したパラテコンドーでは障がいの種類や程度でクラス分けがなされ、スポーツクラスごとに体重別で試合を行います。

但し、今大会では国内ルールとして、

- ①障がい者手帳を取得した身体障がいを有する選手
- ②歩行補助具、硬性装具なしで歩行可能な選手
- ③全日本テコンドー協会に会員登録済みの選手

以上の項目をすべて満たしている選手のみ出場可能とし、参加選手数に応じてクラス分け、体重分けを行います。詳細は参加申し込み締切後、試合日の前日までにお知らせいたします。

<ルールについて>

パラテコンドールールは、健常者ルールと同じ場合が多く、違う部分のみ下記に述べます。

- ①上段（オルグル）禁止、但し相手選手が低い姿勢をとって蹴りがあたった場合は、低く構えた選手が安全ではない行為を犯したとしてカムチョンになる。
- ②パンチ（中段）は行ってもいいが、ポイントにはならない。
- ③ティッチャギ 3 点、**ターン 4 点**、その他のけりは 2 点。

<申し込みについて>

全日本テコンドー協会サイトの、下記会員専用ページから申し込みしていただき、参加費の納入手続きを行ってください。パラテコンドー医療診断フォーム（別紙）に必要事項を記入し、申し込み期限までに下記住所へ提出してください。

<https://m5.members-support.jp/ajta/>

<提出先>

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館 3 階
一般社団法人全日本テコンドー協会

<平成 30 年度強化指定、育成指定選手選考について>

今大会は、来年度の強化指定選手および育成指定選手の選考会を兼ねております。今大会への参加資格は先述の国内ルール 3 項目をすべて満たしている選手となります。必要最小障がい（別紙記載 以下 MDC）を満たしていない選手は、国際大会においてパラテコンドー選手としての参加資格がありません。したがって、MDC を満たさない選手は強化指定選手および育成指定選手の選考対象とはなりません。なお、試合前日の計量時に MDC 判断基準に基づいてクラス分け審査を行います。

<国内クラシフィケーション（クラス分け審査）について>

パラテコンドーでは、障がいの種類や程度によるスポーツクラスが 4 つ（K41、K42、K43、K44）さらに体重別の階級が 3 つ（男子-61 kg、-75 kg、+75 kg、女子-49 kg、-58 kg、+58 kg）あります。MDC を満たしているかを判断するクラシフィケーションでこのスポーツクラスも決定します。このため必要な情報を事前に別書式（パラテコンドー医療診断フォーム）で申し込みと同時に提出していただきます。

ただし今大会の国内クラシフィケーションで MDC を満たしていると判断された選手が必ずしも、国際大会に出場できるとは限りません。

今後日本代表選手として選ばれ、国際大会に出場する場合には、国際大会時に行われるインターナショナルクラシフィケーション（国際クラス分け審査）を受けなければなりません。この国際大会時におけるインターナショナルクラシフィケーションで資格なしと判断された場合には、国際大会派遣にかかる経費（旅費や滞在費など）は個人精算（自費）となります。

※最小障がい基準（MDC）は別紙参照

<パラテコンドーに関する問い合わせ先>

全日本テコンドー協会 パラテコンドー委員長 高木伸幸

090-2755-9424 bbwpk938@yahoo.co.jp